

ようこそ
名画座へ

障がいのある人も
子育てママもウエルカム

「シネマ・チユプリキ・タバタ」(東京都北区)

「シネマ・チュブキ・タバタ」の入り口に立つ、右から支配人の佐藤浩章さん、代表の平塚千穂子さん、スタッフの進多賀彦さん。温かい雰囲気です。

だれもがいつでも安心して鑑賞できる映画館に

商店街の看板に目についたシグマのビルの一階た
り奥の工場の角に建てたシグマの「ユキキヤ
」がありました。ユキキヤは、月や木曜日など
の日の休みの館を意図するに人工語です。全 20
座の小ぶりの館内には、壁が深き緑色に塗さ
れ、足元を敷かれているのは人工芝、100イ
ンチスクリーン（幅約 7メートル）の前に、
大きなスクアのぬぐったが寝そついています。
このシグマは素朴なをイージシました。
前面、側面、後面そして天井まで力を
配置し、豊かな森がまばらにうなる立体的
音響環境を同定しています。また、あらかじめ映
で語るのは、現況、運営習慣、パフォーマンス
観覧者推進と全体シテ、ライヴ代表の平塚千
すべの座席に「ヤホシシヤク」を搭載。目

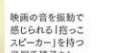
「何とかしたい」という思いで
続けた15年の研究と模索

「以前は私自身にも偏見があつて、目の見えない人に映画やテレビの話を持ち出すこと自体タブーのように感じていました。目が見えない人に、映画を見たいて思わないだろうと勝手に考えていたのです」と平塚さん。そんな先入観を置いたのは、視覚障がいをもつ当事者の声だったと言います。

「多くの映画ファンが、映画を見たという障がい者の願ひに共感して応援してくださった障がいのある人も当り前二人の観客としてくださったのです。みなさんの夢も背負っているから」「お客さんに入らないからやめなす」とは簡単に言えないなと思っています」

最近では、スマートフォンで文字や音声が
の再生しなすを行うこと、インターネット
大手術映画が全作品の音の音音音音音
が、インターネットと言いますが、日本も、
リアをなすための環境が、少しづつ、
きる作品に限られて、また、映画館で鑑賞
「ドキュメンタリーでも、インターネット映画
、自主上映し、そして、インターネット映画
でない、インターネット映画にも、制作が、
私たちの、インターネットには、なかな
した作品に、なだ、た、た、た、た、た、
の作品を、通、通、通、通、通、通、
も映画を、通、通、通、通、通、通、
に充実させ、さい、さい、さい、さい、
取材、取材、取材、取材、取材、取材、
舞台に、舞台に、舞台に、舞台に、舞台に、

全席に搭載されたイヤホンジャック。左右の音のボリュームを調節できるレバーがあります



盲導犬といっしょに映画を鑑賞した「シティ・ライツ」会員の田中正子さん。田中さんは、視覚障害者が映画の内容を理解するための音声ガイドを題材にした映画「光」(阿瀬直美監督)にも出演した方です。

いい映画もあるけれど、場面感とかかりが
ないジャンルといけなくなく。テレビの音
音みたいなものいければいいものに、と
おっしゃるのです。

映画が大好きな私に見るのをあきらめたい
人はいる。何とかなったと、格闘技の選手
さんは00年、仲間と1年に数回しか会
わない。映画館をサボると団体シラ・マイ
ツを設立し早速、音声ガイドの研究に取り
かかると。

「当時、すでにアメリカやヨーロッパ、ス
タモ」音声ガイドの存在が、日本でもお手
なく、とある。自力で音声ガイドをつくら
ては現役らしいのに感想「ガイドバクと
もいながら、どうい表現を伝へたりや
すい。画面に感じてるのを伝へたりやす
い」

そうして仕上げてきた音レコード付きに、芽生え賞金をかけた音楽コンテストに、応募を促した。映画館の主人の夢。

下駄歌や興業会社、関係者が「ソノト」だとして、らさそに都合が合せなかならななし、ちょよと罪悪感がこりこりするところになったという。そこに、権利の關係から、一市民団体と映画館はは扱へた作品の間にまた違ふんす。そんなことよ、お客様は合に合せて日が選ていつ行ても音声レコード付で賞金を貰へ映画館とくりりといと思ふようになつた。」

15年間の活動を土台に、資金金はクラウディングファンディングで、オプンしたのち、その年、9月、館内の壁に描かれたチユキの樹が、その月の支援者の名前を書かれた葉っぱが丹井まで茂ていた。

隅に上れる中、頭を閉じ、音声ガビヤを聞かずに鑑賞すると、頭が痛くなるというので、広島市の海の中、登場人物のいい感じのいい感じの浮かんできた。こんな登場人物の臨感感がほかの映画館にない、臨感にもついている。一私も、ふつと似た見落しにたつたことか、でも意識を考へていかなかったというのに、音声ガビヤによって気にかさるることがあります。目の自由な人に限らず、音声ガビヤのは、より深く映画を味わうための一助にもなるのではないうか？

北区の市民ギャラリーというイベントを開催したのが、行政と連携するなど、以前から地域とのつながりを大事にしていた「トライ

「よしと事さんは思っています。」

「先日も商店街の会長さんに呼びよめられ、隙がある人を見つけて機会が増えてきているから、みんなで案内や仕事を教わらせてくれているんだと言われた。チヤキキ来ようとして道に迷っている目も自由な人ではないから、チヤキキが隙がある人もついでに連れてくることになった。不動産屋の娘さんか。このあたりで新居を建てている方チヤキキを宣伝してくださった（笑）。ちなみに、チヤキキが隙があるものを持っている人は、チヤキキの場所にもないといけないです。」

この親子個室。コンピュータ・タバタでは、小さな子ども連れの基本的な一般席で使えますが、上映中泣いてしまったがずってしまった時利用できます。



「シネマ・チュプキ・タバタ」
JR山手線「田端駅」北口から
徒歩5分

はじめる！

はじめ！
情報

- 口座への振込先
[郵便口座 記号番号:00130-3-708182/
口座名義:バリアフリー映画鑑賞推進団体シ
ティライツ]
- 振込用紙での入金
お電話、またはメールにて、ご住所、お名前、
ご連絡先、お振込金額をお知らせください。1
週間以内に振込用紙を郵送いたします。

問い合わせ・申し込み先
【Eメール】bokin@citylights01.org
【TEL】03-6240-8480
<http://chunki.jp/>